

平成 27 年度 「私たちの主張」

株式会社 桑原組 烏居真優

私は短期大学を卒業し、建設業で経理事務の仕事をしています。働きはじめて約一年が経ちました。建設業で働くうと興味を持ったのは、就職活動中に建設業の会社へ企業訪問をしたことが大きなきっかけです。そこで普段私たちが何気なく利用している建物や道路を作っている現場を見せて頂きました。完成するまでにたくさん人の力や知恵、そして業社の方々が関わっていることで一つの物が出来上がる事を知りました。作業を一生懸命にされている姿や表情を見て少しでも役に立ちたいと考え建設業を志望しました。

私は、いつも事務所での仕事をため、屋外での作業の大変さをあまりわかっていませんでした。実際に働いてみると、思っていたよりもきつくる大変な仕事で常に危険と隣合わせであると感じました。現場は雨や風の強い時

でも、夏の暑い時、冬の寒い時でも屋外での作業です。作業手順を一つ間違えるなどの小さなミスに思えるようなことでも大きな機械を扱う建設業の仕事では大きな事故につながる危険性があります。このような事故を起さないためにも、言葉をかけ合つたりして信頼関係を築くことが大切です。私も作業をされている方と社内ですれ違う時は、相手の方の目を見て「おつかれさまです」と積極的に声をかけるようにしています。短い言葉ですがこの一言で笑顔になつてもらえることもあります。これからも声をかけ続け今までよりも信頼してもらえるようになりたいと思います。また、地域の方々との信頼関係もとても大切です。工事のために利用者の方には、片側交互通行による渋滞であったり作業中の騒音など問題はたくさんあります。私も建設業に興味を持つまでは迷惑に思うことも何度もかありました。このような問題を地域の方々に理解してもらえるようになると工事がスムーズに

進むようになります。より良い物ができるようになると思します。しかし、建設業の仕事はきつくなっています。しかし、建設業の仕事はきつく大変なことばかりではありません。たくさんの方の良いところもあります。私は入社してとても印象に残っていることがあります。それは新しく保育園を建てる工事があり、その完成した保育園に通う園児との交流があつたことです。園児が一生懸命作ってくれた手作りの置物や絵をプレゼントしてくれました。園児が元気いっぱい楽しそうに保育園で過ごしている姿を見ることができました。工事が完成して終わりというのではなくその後を見ることができ良い経験ができました。

建設業とは、私たちの生活になくてはならない仕事だと思います。新しい建物が建つたり道路がきれいに舗装されたりすることでどんどん暮らしが便利になり、豊かになつています。その生活のお手伝いができるのは建設業の素敵なもので、またやりがいを感じるところだと思います。新しくできた建物や

道 路 を 利 用 す る 方 を 笑 顔 に で き る の は 建 設 業  
に 従 事 し て い る 人 だ か ら で き る こ と で す 。 私  
も 今 、 屋 外 で 働 く 現 場 の 方々 に 負 け な い よ う  
に 、 建 設 業 経 理 士 の 資 格 の 取 得 を 目 指 し 勉 強  
を は じ め ま し た 。 建 設 業 に つ い て 、 ま だ ま だ  
勉 強 す る こ と が 多 く あ り ま す が 先 輩 方 に 教 わ  
り な が ら 頑 張 つ て い き ま す 。